

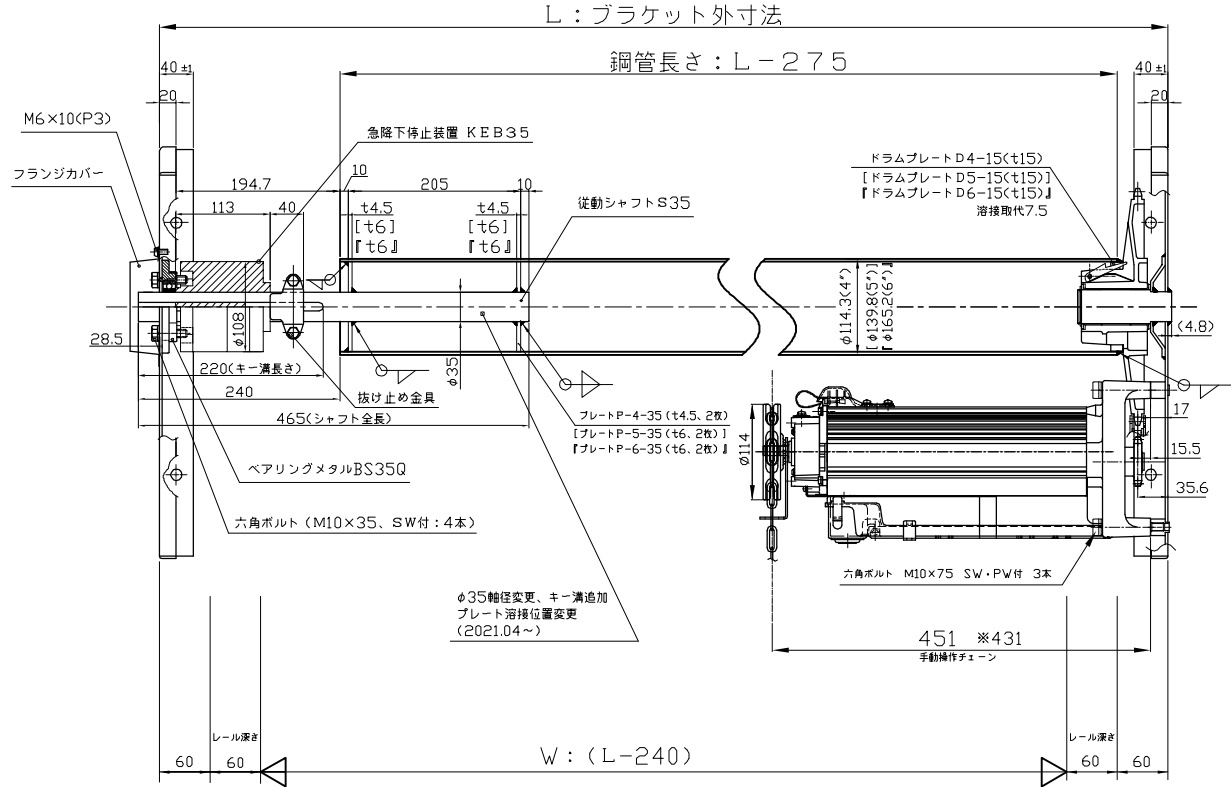
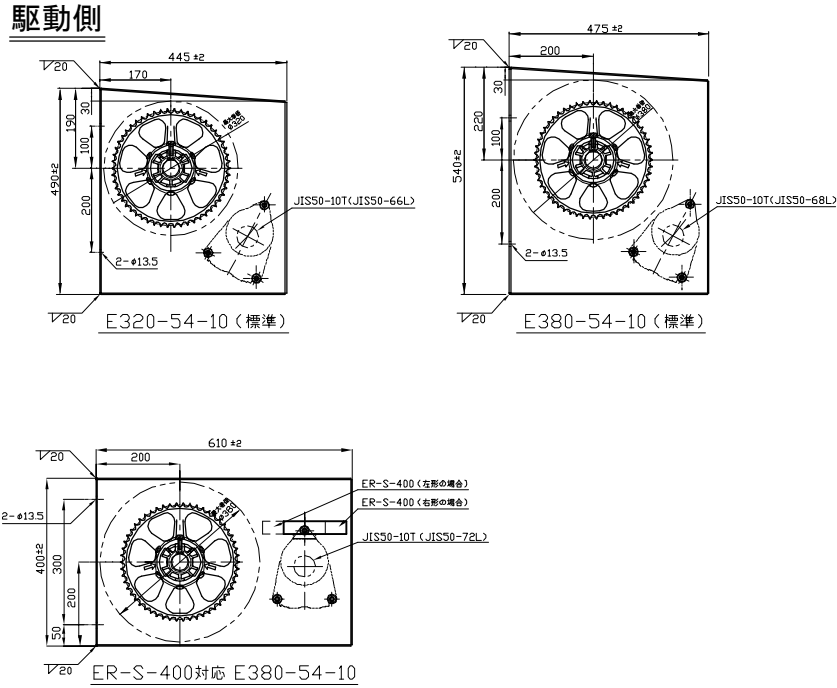
<SHD20S形開閉機 障害物検知機能内蔵>

<SH20形開閉機 リレー式>

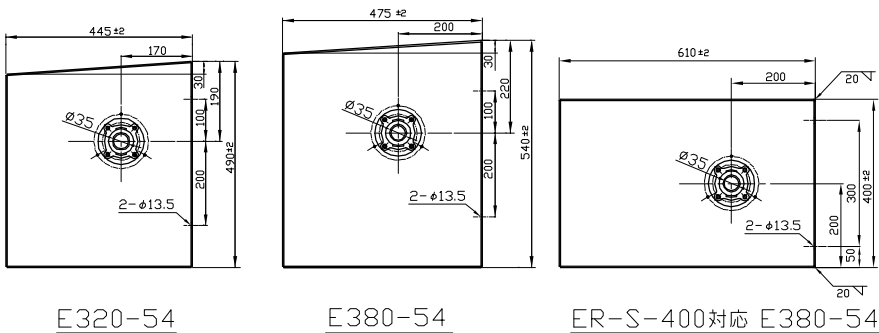
急降下停止装置ある場合

納まり参考図

ブラケット寸法図 (図面は右形を示します。)



従動側 (軸径φ35 2021.04~)



1. 納まり参考図の開閉機は、SHD20S形 障害物検知機能内蔵の右形を示します。

※寸法は、SH20形 リレー式を示します。
(但し、制御部・リミットスイッチは異なります。)

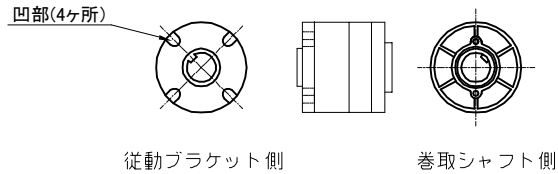
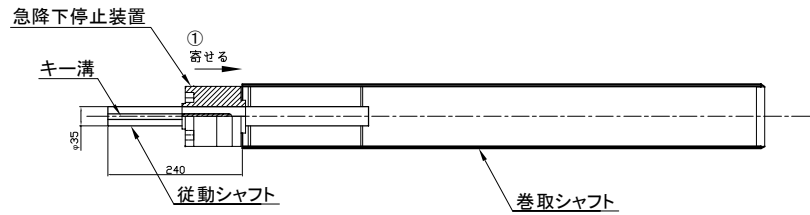
2. 納まり参考図は4インチ仕様です。5インチの場合は [] 内、
6インチの場合は 『 』 内のドラムプレート、プレートを御使用下さい。

- (4インチ 外径φ114.3 肉厚t3.5用
- 5インチ 外径φ139.8 肉厚t3.5用
- 6インチ 外径φ165.2 肉厚t5.0用

3. 抜け止め金具で急降下停止装置を固定してください。

SH20 ブラケット巻取シャフト取付手順 (急降下停止装置あり)

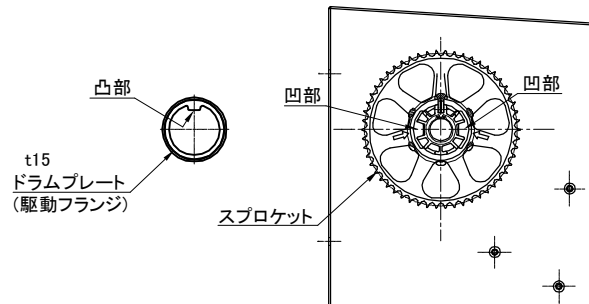
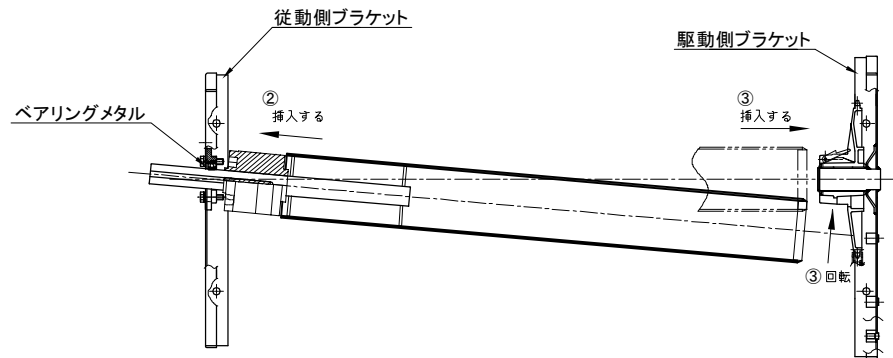
①. 従動シャフトに急降下停止装置を取付け、巻取シャフト側に寄せる。



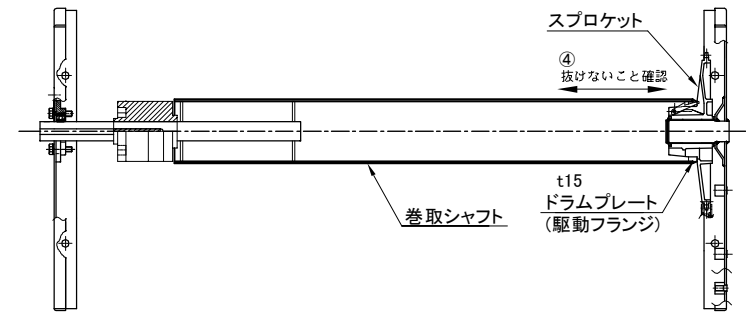
注意
※急降下停止装置には右形用、左形用がありますので現品の表示を確認してください。

②. 従動シャフトを従動側ブラケットのベアリングメタルに通す。

③. ベアリングメタル部を起点に回転させ、ドラムプレート（駆動フランジ）凸部と駆動側のスプロケット凹部を合わせ駆動側のスプロケットに挿入する。



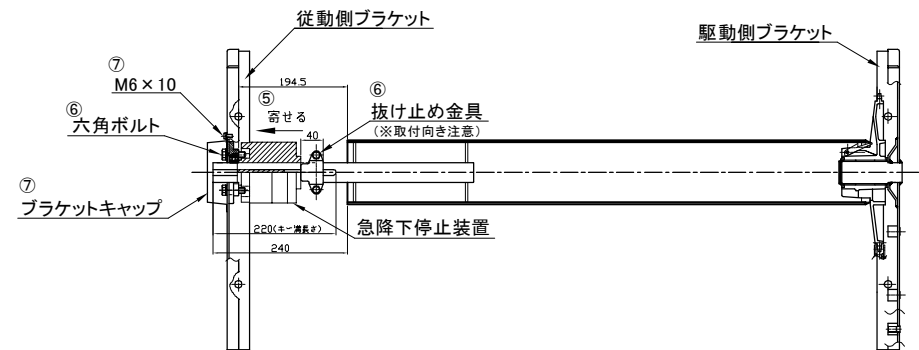
④. 巻取シャフトを挿入したらスプロケットを回転させ巻取シャフトが抜けないことを確認する。



⑤. 急降下停止装置凹部とベアリングメタルから出ている六角ボルトの位置を合わせ、急降下停止装置をベアリングメタル側に寄せる。

⑥. 抜け止め金具で急降下停止装置を固定し、急降下停止装置が六角ボルトの掛かり代から抜けないことを確認する。

⑦. ブラケットキャップを従動側ブラケット外側に取付け、M6×10(平座金、バネ座金 組込式)×3本で固定する。

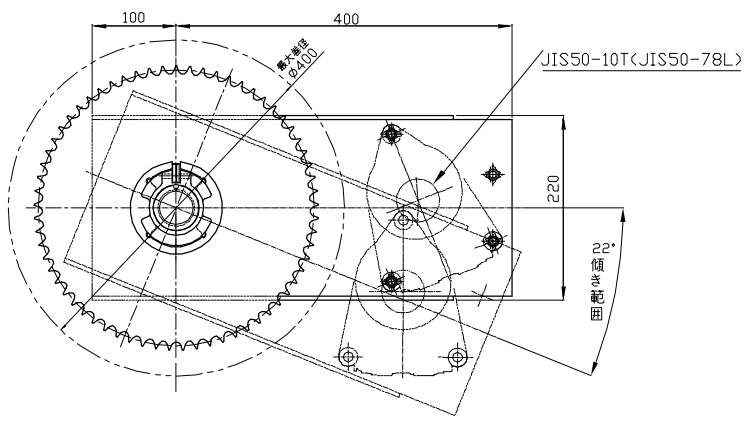


急降下停止装置ある場合

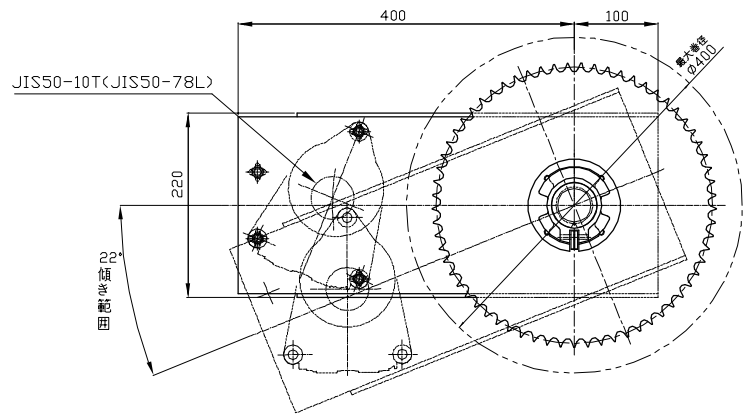
ブラケット寸法図

※ 左右共通

駆動側

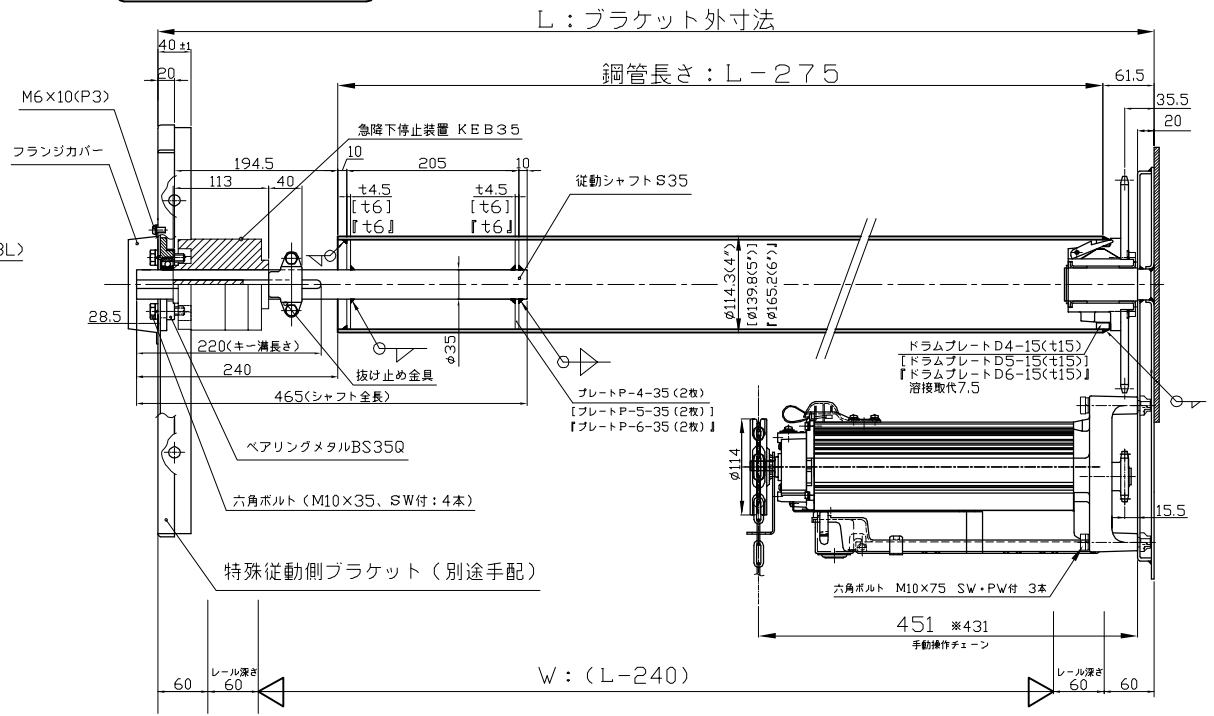


E400-65-10 (強カ) 右形



E400-65-10 (強カ) 左形

納まり参考図

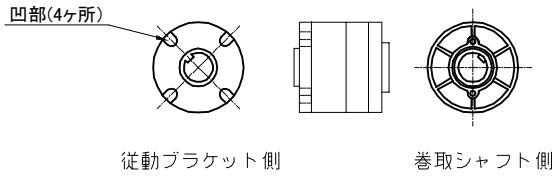
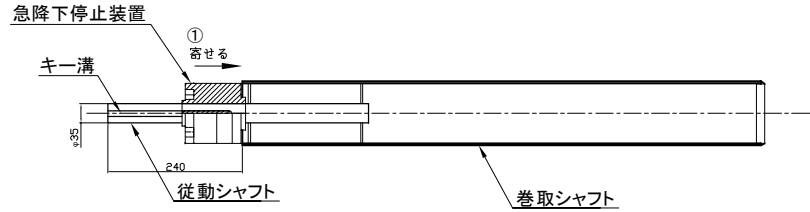


1. 納まり参考図の開閉機は、SHD20S形 障害物検知機能内蔵の右形を示します。
 ※寸法は、SH20形 リレー式を示します。
 (但し、制御部・リミットスイッチは異なります。)
2. 納まり参考図は4インチ仕様です。5インチの場合は [] 内、6インチの場合は 『 』 内のドラムプレート、プレートをご利用下さい。

4インチ	外径φ114.3	肉厚t3.5用
5インチ	外径φ139.8	肉厚t4.5用
6インチ	外径φ165.2	肉厚t5.0用
3. 強カタイプで急降下停止装置を使用する場合、特殊従動側ブラケット (別途手配) が必要です。
 抜け止め金具で急降下停止装置を固定してください。

SH20ブラケット強タイプ巻取シャフト取付手順 (急降下停止装置あり)

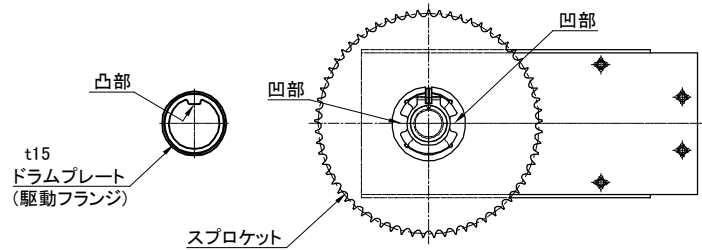
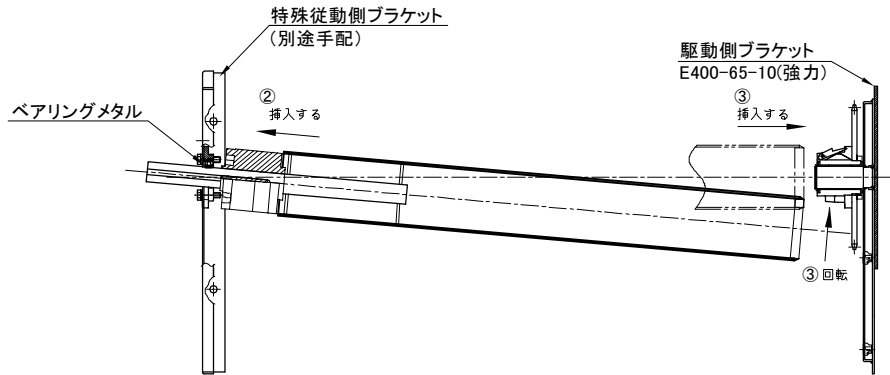
①. 従動シャフトに急降下停止装置を取付け、巻取シャフト側に寄せる。



注意
※急降下停止装置には右形用、左形用がありますので現品の表示を確認してください。

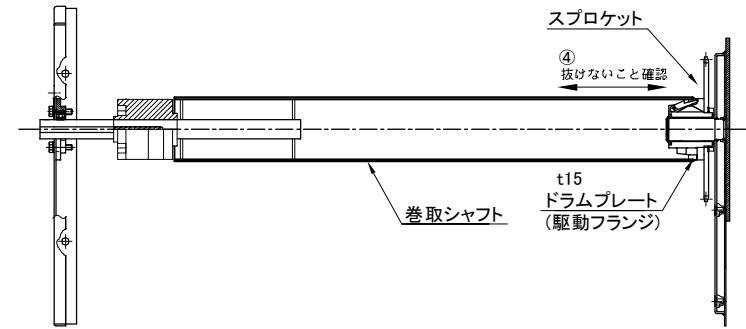
②. 従動シャフトを特殊従動側ブラケット（別途手配）のベアリングメタルに通す。

③. ベアリングメタル部を起点に回転させ、ドラムプレート（駆動フランジ）凸部と駆動側のスプロケット凹部を合わせ駆動側のスプロケットに挿入する。



400-65-10 (強力) 駆動側ブラケット

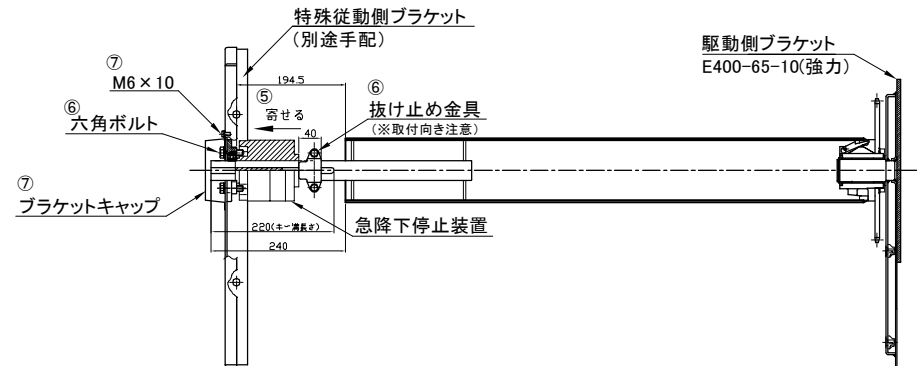
④. 巻取シャフトを挿入したらスプロケットを回転させ巻取シャフトが抜けを確認する。



⑤. 急降下停止装置凹部とベアリングメタルから出ている六角ボルトの位置を合わせ、急降下停止装置をベアリングメタル側に寄せる。

⑥. 抜け止め金具で急降下停止装置を固定し、急降下停止装置が六角ボルトの掛かり代から抜けを確認する。

⑦. ブラケットキャップを特殊従動側ブラケット（別途手配）外側に取付け、M6×10(平座金、バネ座金 組込式)×3本で固定する。



急降下停止装置仕様

急降下停止装置とは、万一開閉機のチェーン切れやチェーン外れによって起きるシャッターの急激な降下を防ぐことを目的としています。

①適用範囲

- ・従動シャフト径φ35の電動シャッターに装備されます。
(※注意：φ30の従動シャフトには適応していません。)
- ・シャッターサイズ：W 1,500mm×H 1,500mm(t0.8)以上

②種類

形式	対応する開閉機	従動シャフト径	適用巻取シャフト	質量
KEB35	SH13/SH20	φ 35	4" (Φ 114.3)	1.7 kg
	SHD13S/SHD20S		5" (Φ 139.8)	
	VS13S		6" (Φ 165.2)	

【形式の説明】

KEB35R

① ②

①適用従動シャフト径

35・・・φ35軸首用

②R：右形用、L：左形用

※取付けるシャッターの開閉機が右形の場合、対応する急降下停止装置はR（右形用）となり、開閉機が左形仕様の場合は、急降下停止装置もL（左形用）となります。

③作動回転数

KEB35・・・40±10 rpm

④使用条件

周囲温度：-10℃～40℃ 凍結を除く

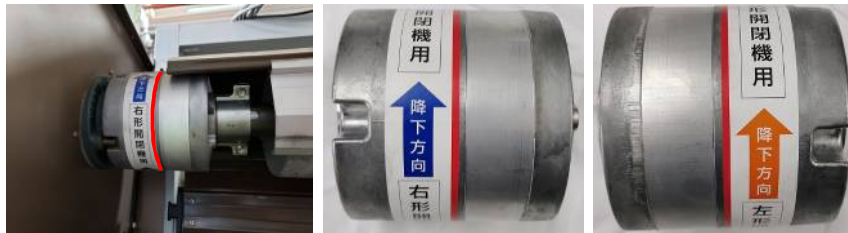
周囲湿度：RH85%以下

環境条件：沿岸部・化学工場等の腐食環境を除く

⑤作動耐久性

5回

※ただし、作動耐久回数は保証値ではありません。使用環境、使用条件により耐久回数が少なくなることがあります。



■急降下停止装置作動後の復帰の手順

チェーン切れ等により急降下停止装置が作動した場合、次の手順に従って復帰してください。復帰方法を間違えますと、シャッターの破損・落下等の事故につながりますので、必ず下記の手順で復帰してください。

